

採血・注射・点滴を受けられる方へ

細心の注意を払い実施しておりますが、針を刺しても血液が採取できない場合や必要量を採取できない場合もありますので、その際には針を刺す場所を変えて再度採血させていただきます。また、注射、点滴をする際、血管確保のために複数回針を刺すこともありますのでご了承ください。

本人確認にご協力下さい

「患者間違い防止」のためフルネーム・生年月日を確認させていただきます。

以下に該当する方は、事前にお申し出下さい

- ①消毒用アルコールやゴム製品やテープ類にアレルギーのある方
- ②透析用のシャントのある方
- ③乳房切除手術を受けられた方
- ④採血や注射時にご気分の悪くなられる方
- ⑤血を固まりにくくするお薬（ワーファリンやアスピリンなど）を服用している方

採血・注射にともない起こりうる症状と注意

1. 止血困難・内出血

採血後に血が止まりにくかったり青あざが生じたりすることがあります。もまずに 5 分間針を抜いた部分をしっかり押さえてください。
皮下出血が見られる事がありますが時間経過とともに吸収されます。

2. 神経損傷

肘の血管の近くには神経が走っている場合があります。細心の注意をもって針を刺しますが、血管と神経の位置関係は個人差が大きく、ごくまれに、神経に触れてしまうことがあります。指先まで広がる痛みやしびれが続く場合はお申し出下さい。

3. 血管迷走神経反応

採血時や採血前後に神経が興奮し急激に血圧が下がることによって、めまい、気分不良、意識消失などを引き起こすことがあります。気分の悪くなったことがある方はお申し出下さい。

※これらの症状が起きて診察を要した場合にかかる医療費は通常の保険診療扱いとなりますのでご了承ください。